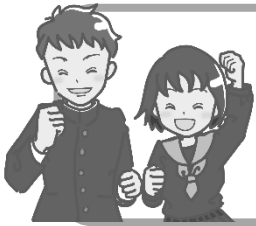
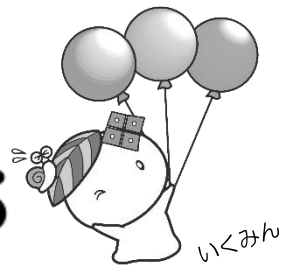


生野区★中学生news



中3のみなさん、ご卒業おめでとうございます！そして、中1・中2のみなさんは一年の締めくくりですね。ネットで見かけた言葉ですが「コロナ禍の中で1年間、無事に生き延びただけで100点だよ」という言葉がありました。生徒のみなさんも教職員のみなさんも、精一杯の1年を過ごしたことを喜びたいですね。生野区長 山口照美

チャレンジする人に、そしてチャレンジを応援する人になろう！

先日、生野区のこどもたちの学びについて企業や大学や中学校の先生が入って話し合う「**IKUNO 未来教育フォーラム**」が開かれました。当事者であるみなさんの声の代表として、生野中学校の生徒会のみなさんにも「将来の夢」や「こんな授業を受けてみたい」という意見を聞き取り、フォーラムの場で紹介しました。

企業の人たちは「社会の変化」をいち早く感じています。10年前には無かった職業がどんどん生まれ、消えていく仕事も多くあります。変化の激しい社会で生きていくには、失敗を恐れずチャレンジする勇気が求められます。やってみないと、わからないことが多いからです。フォーラムの中で、大学の先生に



「チャレンジする人を増やすには、仮に**失敗しても『リスクを恐れずよく挑戦した!』と褒める空気が無いとダメ**。生野区を“挑戦を褒めたたえるまち”にしてください」と言われました。

チャレンジしろ、と言われても「なんで違うことしてるねん」と周りが否定的だと、ためらってしまいます。挑戦したい人が出てくるのを待っているようではいけない、**お互いにチャレンジを褒めるようにすれば、どんどんトライする人が出てくる**。周りが一歩前になるようになれば、自分もチャレンジしたくなる。

まずは、この1年の自分や仲間のしたことを振り返り、挑戦したことを「すごいな!」と言葉にしてみてください。



読書のススメ

『ここは今から倫理です。』1～5巻

著者：雨瀬シオリ（集英社）

今、NHKでドラマもやっています。命について、「正しさ」について、犯罪について、高校生をリアルに取り巻く問題を「倫理」という教科を通じて、考えさせるストーリーです。SNSの上にいる“盛った自分”の評価が気になってスマホが手放せなくなる高校生に、主人公の教師はどんな授業をするのか（2巻）。ネットのキャラでもない、生徒でもない、誰かの友だちでもない、演じていない「自分の人格」は一体どんな人間なのか。文字の多い漫画ですが、多くの中学生に読んでほしい作品です。



ちょこっとNEWS

いつか「働く」で困った時のために

「コネクションズおおさか」のご案内

中学を卒業し、それぞれの進路に向かった先でうまくいかない場面もあります。できるだけ「学校や職場に所属する」ことが大事ですが、特に就職で悩むことがある時には「コネクションズおおさか」が相談に乗ってくれますので、覚えておいてくださいね！

コネクションズおおさか

Tel: 06-6344-2660

（火～土：10時半～18時半）



10代のための相談窓口まとめサイト

ミークス で 検索 <https://me-x.jp/>